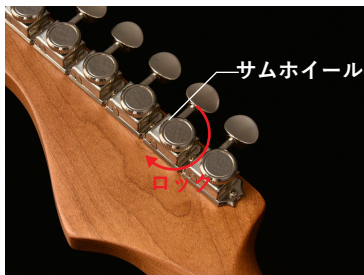
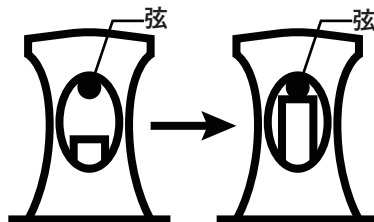


ロック式ペグ（ロッキングチューナー）の取り扱いについて

仕組み



ペグ裏側にある「サムホイール」を回すことによって弦を固定する構造となっています。ペグポストに巻き付ける弦の量が減り弦交換が容易になるだけでなく、チューニングの安定性を高める効果もあります。



サムホイールを回すとペグ内部のボールがせり上がり弦が固定されます。

弦交換の方法



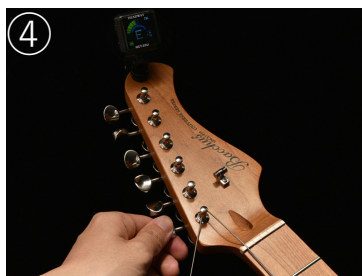
①はじめに古い弦を取り外します。トレモロがフロートしている状態で弦を外すと、トレモロの後方が下がりボディを傷つけてしまう恐れがあります。画像のようにクロスなどを挟み防止してください。



②弦をペグの穴に通し、たるみなく引っ張ります。このとき、弦のボールエンドがトレモロブロックにある弦穴の最深部まで到達していることを確認してください。



③サムホイールを締めて弦を固定します。



④ペグつまみを反時計周りに回して弦を巻き上げ、チューニングします。すべての弦を同様に張り替えてください。（※備考を必ずご確認ください）

備考：1・2弦の巻き方について

本製品は出荷時に 09-42 ゲージの弦を採用しております。ロッキングチューナーの構造上、細い弦になるほどペグと圧着する部分の面積が小さくなり摩擦力が弱まるため、サムホイールを締めこんでも弦を固定しきれない場合があります。そのため 1・2 弦では、弦をペグポストの穴に二回通す方法を推奨いたします。（右画像参照）

